

令和2年度 学校経営方針

豊かな心とたくましい心身をもつ児童の育成 ◎思いやりのある子ども ○健康で明るい子ども ○よく考え工夫する子ども

- ◇ **目指す学校像** ◇
- 1 子供が学ぶ楽しさや達成感を味わうことができる学校 → 確かな学力の向上と定着 計画的な指導 授業力の向上 (主体的、対話的に学ぶ授業)
 - 2 健やかな心と体を育てる学校 → 基本的な生活習慣の確立 キャリア教育の推進 読書活動の推進 交流・体験活動 運動への意欲・体力の向上
 - 3 地域に開き、保護者・地域に信頼される学校 → 保護者・地域との連携 情報の発信 (便りやホームページの充実) 地域行事への参加

確かな学力の定着と向上

1 計画に基づいた指導

- (1) 年間指導計画に基づいた「週ごとの指導計画」の作成・提出
 - 知識・技能の定着 ○ 思考力・判断力・表現力の育成
 - 学びに向かう力・人間性の涵養
- (2) 情報活用能力と論理的思考の育成のため、プログラミング教育を実施

2 基礎的・基本的な学習内容の定着

- (1) 主体的・対話的に学ぶ授業 → すすんで考え、表現・共有する授業
- (2) 個に応じた指導の工夫 → 目的や方法の明示、放課後補充教室の充実
- (3) 書くことの日常化と言語環境の整備 → 「朝の時間」や廊下掲示など

3 学習習慣の確立 規律ある学習習慣の確立

- (1) 返事と挨拶・話の聞き方と話し方・用具の準備・家庭学習の習慣化
- (2) 「早宮の約束」(学習編)の徹底・家庭との連携

4 研究・研修の充実

- (1) 校内研究の充実 → 国語科「書くこと」を通して、文章表現過程や効果的な共有を研究し、自分の思いを豊かに書く児童の育成を目指し、授業改善を図る
- (2) 校内研修の充実 → 主幹・主任教諭を講師とした15分の研修会と校外研修会の報告を含めた教員間の学び合い・若手教員の指導力向上
- (3) 小中一貫教育の推進 → 9年間を見据えた相互理解と連携

◇ 教職員の基本姿勢 ◇

- 1 子供の心に共感できる教職員 → 子供の「心」に寄り添った指導
- 2 協調・協働体制の確立 → 組織の一員として対応、目標達成に向け一致協力
- 3 工夫・改善できる教職員 → ねばり強く改善の努力
- 4 自ら学ぶ教職員 → 自己の課題を把握し、職層に応じた指導力
- 5 サービスの遵守 → 教育公務員として法の遵守

健やかな心と体の育成

【心の教育の推進】

- 1 基本的な生活習慣の確立 「早宮の子のやくそく」の徹底
 - 挨拶と返事(「あいさつ運動」と日常化) ○ 相手の立場を理解し、すすんで行動する
- 2 キャリア教育の推進
 - 「キャリア・パスポート」を活用して、主体的に学びに向かい生き方を考える力を育て
- 3 いじめや不登校のない学校
 - 人権尊重の理念と児童の変化に気付く感覚 → 常に児童と過ごす・「心のふれあい週間」
- 4 読書活動の充実 → 学習の基礎・朝読書・読書旬間・平和台図書館やおひさまの会との連携
- 5 特別支援教育の充実 → 校内委員会の充実と関係教職員・諸機関との連携

【体験活動の充実】

- 1 縦割り班活動の充実 → 遊び・計画ロング集会・給食
- 2 外部講師による体験活動の実施 → 昨年度の反省を生かした各学年の年間計画
- 3 異校種との連携 → 開進第一中学校・近隣の幼稚園・保育園

【体力向上】

- 1 新体力テストの実施・活用 → 体力テストの結果に基づいた実態把握、分析と発信
- 2 体育授業・体育朝会の充実 → 児童の実態に応じた指導の工夫改善、運動量の確保
- 3 外遊びの奨励 → 担任や週番による意図的な工夫や働きかけ
- 4 オリンピック・パラリンピック教育の推進 → 年間指導計画に基づいた指導

【保護者・地域との連携】

- 理解と協力 → 保護者の会・保護者・地域人材、施設を生かした活動と地域行事への参加
「地域未来塾」の継続
- 情報の発信 → 学校ホームページの充実(教育活動が分かる定期的な更新・担当の明確化)

◇ 危機管理体制の確立 ◇

- 1 「子供の命と安全を守る」体制の確立 → ①事故の発生時「迅速・的確・誠実」な対応
②問題、課題の発生時「報告・連絡・相談」を速やかに ③誠意ある事後対応と未然防止
- 2 個人情報の厳正な管理 → ①規定の遵守 ②日常の机上整理 ③互いの声掛けと手渡し